

## 一般社団法人日本独文学会 2020年度事業計画書

一般社団法人日本独文学会は2020年度に次の事業を行うことを計画している。

1. 秋季研究発表会（富山大学）の開催
  - ・ 2020年10月17日および18日に、富山大学五福キャンパスにおいて秋季研究発表会を開催する。
2. 機関誌 „Neue Beiträge zur Germanistik“ の発行（年2冊、うち1冊は国際誌）
  - ・ 161号（欧文誌）および162号（和欧混合誌）を編集・発行する。161号の特集テーマは „Yoko Tawada – Poetologie der Exophonie“, 162号の特集テーマは「日本における『外国語としてのドイツ語（DaF）』—教育実践と教育研究の新たな方向性」である。
3. 文化ゼミナール・語学ゼミナール・教授法ゼミナールの開催及びその記録論集の発行
  - ・ 第48回語学ゼミナールを2020年8月31日（月）から9月3日（木）の日程で京都市において開催する。また、第47回語学ゼミナール（2019年9月開催）の論集 „Linguisten-Seminar : Forum japanisch-germanistischer Sprachforschung“第3号を編集し、J-Stageで公開する。
  - ・ 第62回文化ゼミナールを2021年3月に開催する。また、第60回・61回文化ゼミナール（2018年3月・2019年3月開催）の論集を編集し、J-Stageで公開する。
  - ・ 第25回教授法ゼミナールを2021年3月に開催する。第25回教授法ゼミナールを2021年3月に開催する。
4. ドイツ語教員養成・研修講座の実施
  - ・ ドイツ語教育部会、東京ドイツ文化センターとの共催で開催している「ドイツ語教員養成・研修講座」を2019年度に引き続き実施する。
5. 日本独文学会・DAAD賞の授与
  - ・ 第18回日本独文学会・DAAD賞の選考を行う。授賞式は2021年春季研究発表会において行う。
6. 日本独文学会研究叢書の発行（ウェブサイトによる電子出版）
  - ・ 日本独文学会研究叢書を学会HPにおける電子出版の形で公開する。
7. その他のドイツ語、ドイツ文学及びドイツ語教育の研究及び普及に資する事業
  - ・ 故岩崎英二郎先生のご遺族からいただいた寄付金で創設した「日本独文学会岩崎基金」で若手研究者の研究成果公開のための支援を行う。
  - ・ ドイツ語論文執筆ワークショップを11月に開催する。
  - ・ アジアゲルマニスト会議2019の各発表に基づく論集を iudicium 社からオープンアクセスの電子出版の形で2020年度に刊行する。